み多ヴ立 ま時リをにすよ問をロ地た動はつにその11をよと
 をは復座 ヴ礎しが イ石身てボ
リに体も童ボ
オてし意ボ が世速はな い界度あら うのがり々台生まそ身座みせの体を出ん。上




人あ固きィと あ固きイとして


 す。
そ
ぞ
ぞ
わ
れ
る
生
物
的
身
体
解
体
は

現
実
を
作
$り$
出
し
そ
ま
し
た
し
し
し

－的は $\theta 2 x$ 플
社 植会民成と物地 れい的 どて豙方身


子どもたちに語りかける著者（公式サ イトwww．leadinggreatlearning． com／より）

## 能動的な学び手（アクティブ・ラーナー）を育てるには，「選択肢」が重要かつ効果的！「自分の学びを自分で選ぶ｣とから始むる授業革新 <br> 教有のフロがすすめる選択する学び

教師の指導も，生徒の意欲も向上マイク・エンダーソン／吉田新一郎 訳<br>－ジャンル：教育実践



著者 Mike ANDERSON アメリカの教育コンサルタント。小学校の教師を15年間勤めたほ か，幼稚園から大学院まで教えた経験がある。ワークショップのファシリテーターなども務め，生徒に選択肢を提供する教え方の普及に注力している。
四
六
製
二
元
六
頁
二
○
○
円社
会
学
異
待
望
第
論
集






末
以
降
欧
米
若
者
ち
を
死
暴 ル
独
自
視
点
読
解
き
20
世
紀
 ホニㄴㄴトロ・ロ


四 に


現在の危機の本源は



『朝日新聞】書評 ISBN978－4－7948－1118－9





如田1然



 そ
の
生
涯
と
c．
を
梅
根
前
前
梅戋 男廿



好評刊•最新刊 4




『朝日新聞』他紹介






|  |
| :---: |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |














## 

细；不并丮閣 | 扣 |
| :---: |
| 待 |

『ツールエンジニア』書評 ISBN978－4－7948－1115－8

 －


㽞家



択は 暴るむてこれは屈と強さ う者




人 ず境


| は |
| :---: |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |





## 7 －本を売る・書評日誌•4月の増刷

くらが非こすと迷びっめあ当選当多とけしお毎おおの のし多常近とが合惑やたしりたん粡々，て て問每客当せ春元選いいに年が，わを，時たがりでにあご本しいの様店ては号択進と多，で普さお反に本た前買ごり不のま合接にもい例が肢歩い様情き段つか対じをみのつ来ま便ごつわ客ご，る年の のでう化報まはてけにんおはよて店すを説たせに来およ以令中すのしやせな後しおわ客 いうく頂 ${ }^{\circ}$ お明りやお店かう上和 か。はて娯んか各た会り様例でだきにかが，おい頂げににし らで間い楽。な思時計とがえ当さいもけ出十会てい様感世に選は違まの かいの時湧買ばたるそかす来分計，てでじ間替 んそいす取 噛起申のいつ自りまのかるなにでやお連まがわ でうな。得頂しく選方 いた素択法 めれなでるだおな て多晴肢は るまさご喜さ勧いなを


わケか時おむり昌す賑り，



$$
\begin{aligned}
& \text { い今 } \\
& \text { を年 }
\end{aligned}
$$

ッブ
や
陳
列
の
変掊
更
な
ど
に屋強

2•17 青静岡新聞『オランダ公共図書館の挑戦』（岡本 真）
2 •23 围図書新聞『『ニルスのふしぎ な旅』と日本人』（福井信子）
2 •24 絯静岡新聞『スウェーデン・ デザインと福祉国家』
2 1 上（： した抒情画家 蕗谷虹児』（都築響一）
鍆出版ニュース『『ニルスのふ しぎな旅』と日本人』
3•1 電週刊朝日『新装合本 牙王物語』（中村智志）
3 •2 圈西日本新聞『『ニルスのふし ぎな旅』と日本人』（著者イン タビュー）
3 •20 圈朝日マリオン・コム『猫た ちとニューヨーク散歩』（読者 プレゼント10名， $3 / 20 \sim 4$ 3 掲載）
3•27 睩北海道新聞『手のひらの小 さな愛』（著者談）
3 •30 書週刊現代『大連 空白の六百

日』（石井妙子）
粘西日本新聞『国際産業立地論への招待』
3 •31 围静岡新聞『乙女たちが愛し た抒情画家 蕗谷虹児』（大塚明子）
3 月号 圈猫びより『猫たちとニューヨー ク散歩』（著者談•作品紹介）

## 4 月の増刷



こ年責れの物た ！隊け時 のに任にび館 ${ }^{\circ}$ 教にれ代あ言もがはなを1師入ばにの葉ぜあ事い訪 9 たつなは梅 はひる実事れ 6 ちたらあ根 そ見しと実た 0 のらなる悟 つせとしで梅年苦楽か程で くる語てあ根に悩だっ度さ りべりそっは北がぞたおえ，今き いれては朝読今を日をもも鮮みと生上軍梅日言本正，見のと言徒に国根本つの視わる革れつに従主 へた青すれに命またてわ義悟 の由少るわし博じ軍なの

ちまいでつす年1 はのいッん
やちてすきまの 2 初こ犬クしま
んがく○りする9めと大りのず座たいれ著泣楽野名てが泣，後間ちなて者いし球ので書き迷ろ表市皆とあのてみ母野すいでわ姿紙 にと思が神笑にち球 ○て読ずがの清す思が川さなさな部高あ読買自写祥め周！」，過まし属の！！こ まか！球子て夙共本すた目残息となた思！ち まの感書つ。々りは思になっかや歳ます絶をも思が約部うに大てちん歳す。母対書りいま半員本私笑ビゃに


新件なきが録徹でなンン居フ刊連真の中日つ写



